



新たに訪れる時代、変化する社会への対応

九州大学大学院歯学研究院 特任教授

古谷野 潔

このたび、第41回東北・北海道支部学術大会において特別講演をさせていただくという大変名誉な機会をいただきました。2019年8月に当時2020年の支部学術大会長として準備をしておられた関根秀志先生から本講演のお声がけをいただきました。しかしご存知の通り、新型コロナウイルス感染症の拡大により昨年度の大会は開催されませんでした。その後、本年度の大会長に就任された山森徹雄先生に再度お声がけをいただき、今回の講演を担当させていただくこととなりました。ご高配をいただいた山森徹雄大会長および関根秀志先生に心より感謝申し上げます。

さて、本講演は、第41回東北・北海道支部学術大会のメインテーマである「新たに訪れる時代・変化する社会への対応」に沿った内容を取り上げることとなりました。メインテーマに沿った内容として、デジタル技術の臨床応用、ジルコニアを中心とした新規材料、超高齢社会におけるインプラント治療、インプラントのトラブルへの対応、主治医を持たないインプラント難民の患者さん対応、更にはシンポジウムでも取り上げられている長期経過から考えるインプラント治療など様々なテーマが考えられます。

本講演では、この中から、超高齢社会におけるインプラント治療について取り上げたいと思います。超高齢社会ということは皆が長生きする長寿社会とも言えます。そうするとインプラント治療終了後も患者さんは長く生活されることになり、必然的に長期経過からインプラント治療を考えていく必要があります。時間が許せば、デジタル技術の臨床応用についてもお話したいと思います。本講演では、これらのテーマを通じて、「新たに訪れる時代・変化する社会への対応」について考えてみたいと思います。

【略 歴】

- 1983年 九州大学歯学部卒業
- 1987年 九州大学歯学部附属病院助手
- 1997年 九州大学歯学部教授
- 2003年 九州大学歯学部附属病院長(～2003年10月)
九州大学病院統括・歯科担当副病院長(～2008年3月)
- 2017年 九州大学大学院歯学研究院長・歯学府長・歯学部長(～2019年3月)
- 2019年 九州大学病院副院長(統括・歯科担当)(～2021年3月)
- 2021年 九州大学大学院歯学研究院特任教授